

教科目名 日本語表現法 (Japanese expression)

学科名・学年 : 制御情報工学科 4年 , 土木工学科 4年

単位数など : 必修 2単位 (通年1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教官 : 山田繁伸

授業の概要		
<p>基本的な日本語の文章作法を学ぶことと、実践的な課題に取り組む作業とを適度におりませた授業とする。授業の中心を、ちょっとした実用的な文章からレポートや論文に至るまでの書き言葉表現の学習とする。しかし、口頭発表や討議などにおける話し言葉の効果的な表現法についても学ぶ。</p>		
到達目標		
<p>(1) これまで学んできた日本語に関する基礎力を高める。 (2) 日本語による論理的な記述力を身につける。 (3) 討議などによって、口頭発表力やコミュニケーション能力を身につける。 (4) 具体的に書いたり発表したりすることによって、物事をさまざまな視点から考える力を身につける。</p>		
回	授 業 項 目	内 容
	第1章 日本語を知ろう	
1	1節 日本語は非論理的か	日本語の曖昧さなど、日本語の特質について考える。
2	2節 話しことばと書きことば	話し言葉と書き言葉の違いについて考える。
3	3節 表記はむずかしいか	仮名遣い・送り仮名・漢字表記などについて学ぶ。
4	4節 敬語は面倒か	基本的な敬語を学ぶ。間違いやすい敬語を学ぶ。
	第2章 まず文章を書こう	
5	1節 なぜ書くのか	文章を書くことの意義について考える。
6	2節 どのような文章を書くのか	文章の種類を知る。文章の型を学ぶ。
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	
9	3節 手紙はどう書くか	手紙の形式を学ぶ。
10	4節 要点をどうまとめるか	要点のまとめ方を学ぶ。
	第3章 もっと文章を書こう	
11	1節 書く前に何が必要か	文章を書く前の準備について考える。
12	2節 書く時に何が必要か	構成の工夫を学ぶ。
13	3節 どのように書くか	執筆する時の注意点を学ぶ。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	
16	4節 書いた後に何が必要か	推敲の工夫を学ぶ。
	第4章 レポートを書いてみよう	
17	1節 レポートとは	学生の書くレポートについて考える。
18	2節 レポートには何が必要か	テーマ設定・検証方法・資料収集について学ぶ。
19	3節 レポートのまとめ方	構成・表題・注・参考文献などについて学ぶ。
20	4節 論文はどう書くか	先行研究の整理検討・論文の書式などを学ぶ。
	第5章 話し方を知ろう	
21	1節 話しことばとは何か	話し言葉を振り返って考える。
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説	
	2節 どのように話すか	分かりやすい話し方について考える。
24	3節 口頭発表をしよう	口頭発表の工夫を学ぶ。
25	4節 討論をしよう	討論する時の注意点を学ぶ。
	第6章 より豊かな表現をめざそう	
26	1節 国語辞典を有効に使おう	国語辞典の種類と有効な使い方を知る。
27	2節 パソコンを利用しよう	パソコンで文章を書いてみる。
28	3節 インターネット時代の表現法	IT時代の表現法の可能性について考える。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	<p>指定した教科書を毎回使用して、授業を進める。90分の前半は講義とし、後半を演習形式とする。演習には、教科書に準拠したワークブックを主に使用する。学期末に、ワークブックを提出してもらい、それを総合評価に入れる。したがって、毎時間きちんとワークブックに取り組むこと。</p>	
教科書	<p>沖森卓也・半沢幹一『日本語表現法』三省堂</p>	
参考図書	<p>木下是雄『理科系の作文技術』中公文庫, 中村明『悪文』ちくま新書 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書 など</p>	
関連科目	<p>国語 , 国語 , 国語</p>	
評価方法	<p>最終成績 = 0.8 × (4回の定期試験平均) + 0.2 × (ワークブックなどの課題)</p>	